

コールドイオール 染め方説明書

必ず本説明書をお読みになってからご使用ください。



- ・色生地を染める場合、生地の色が染め上がりに影響することがあります。
 - ・レースや刺繍など、部分的に異なる材質の繊維が使用されているものは、全体の色調が均一にならない場合があります。
 - ・同一繊維の布でも、織り方や加工により色調が異なる場合があります。
 - ・ドライクリーニング表示のあるもの、型くずれしやすいものなど、取り扱いの難しいものは染色には適しません。
- また、高価なもの、大切なものの染色もさせていただきます。



よく染まる繊維

植物繊維 など

- ・綿
- ・リヨセル
- ・麻
- ・テンセル
- ・レーヨン
- ・キュプラ
- ・ビニロン

※ポリエステル糸・ボタンは染まりません。



淡く染まる繊維

動物繊維 など

- ・絹
- ・毛（ウール）
- ・ナイロン
- ・ポリウレタン



染色に向いていない繊維

- ・アクリル
- ・ポリエステル
- ・アセテート
- ・防水（樹脂）加工された繊維

※染まりにくい繊維が混紡されている場合は、その分染め上がりが淡くなります。（混紡率により色味が異なる場合があります）

※ポリエステルを染める場合は、コールドイオール／ポリエステルダイをお使いください。

準備するもの

Tシャツ 1 枚（布約125g）を染める場合

※必要な染料の量は染めるものの重さに対して8%が目安です。



- 染料：本品 1 包（10g）



- 染色容器（ポリ容器・鍋など）：
布がゆったり動かせるくらいの大きさの容器
- 30℃以上のお湯約3.5ℓ
※温度は高いほど、より濃くあざやかに染まります



- 助剤（塩か酢）
※染める繊維によって異なります



- 染める布
（乾いた状態）
ここでは T シャツ
1 枚分約125g



- 染料を溶かす
耐熱容器
※容量500ml程度



- 染料を溶かす
熱湯約250ml



- 台所用液体
中性洗剤



- 箸

助 剤

染める繊維に合った助剤をお使いください

植物繊維 など

塩 約30g

染め液1ℓに対し約8g（大さじ約1/2杯）

動物繊維 など

酢 約50ml

染め液1ℓに対し約13ml（大さじ約1杯）

植物・動物繊維の混紡品

塩 約30g と 酢 約50ml

塩で染色後、酢で染めてください。
△ 助剤を入れる順番を間違えると染まりません。

➡ 染め方は裏面をご覧ください。

脱色または、薄い色に染めかえる場合

別売の「みやこ染の脱色剤」をご使用ください。
※詳しい使用方法「みやこ染の脱色剤」の説明書をご覧ください。
※化学繊維の中には色が抜けないものがあります。
※塩素系漂白剤を使用時の染め直しはしないでください。変色する恐れがあります。また、染料が入りにくくなります。

染め液の後処理

染め液はステンレスシンクなどで水を流しながら、排水溝めがけて捨ててください。陶器の洗面台などは色が付着する場合があります。

使用上の注意

- ①作業をするときはゴム手袋の着用をおすすめします。
- ②皮膚についたときは石けんでよく洗ってください。
- ③染色容器に色が付着する場合があります。
- ④染色に使用した鍋やボウルなどでの調理はお控えください。
- ⑤染色した布は、他のものと一緒に洗濯をさせていただきます。
- ⑥幼児の手の届くところに置かないでください。
- ⑦絶対に飲まないでください。誤って飲み込んだときは、水で口をすすぎ、また、目に入ったときは多量の水で洗眼して、医師の診断を受けてください。
- ⑧保管するときは、高温・多湿・直射日光を避けてください。
- ⑨用途以外のご使用および、説明書に記載されていない方法で使用方法の場合に不都合が生じて、製品の性質上、当社は責任を負いかねます。

MADE IN JAPAN 国内自社工場



桂屋ファイングッズ 株式会社

東京都中央区日本橋小舟町14-7

<https://www.katsuraya-fg.com/>

「よくあるご質問」
「お問い合わせ」は
公式サイトまで▶



染め方

Tシャツ1枚を染める場合

ゴム手袋の着用をおすすめします

染色ポイント

- 淡色にするには染料を減らす(助剤は規定量を使用する)
- 染料は自由に混色できる

● 濃くする方法(1～3の組み合わせでも可)

1. 染色温度を上げる(50℃以上)
2. 染料および助剤を増やす(1.5～2倍 ※助剤も同比率で増やす)
3. 染色時間を長くする(30～60分くらい)

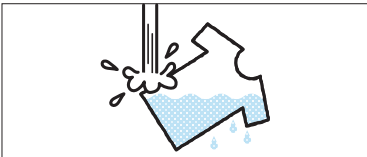
▼植物繊維、動物繊維それぞれのQRコードから、染め方の動画をご覧ください。

植物繊維 など

綿・麻・レーヨン
キュプラ・ビニロン



① 布を洗う



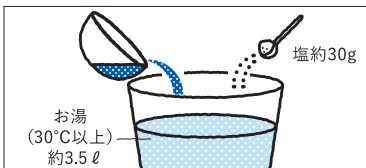
染めるものの汚れ・しみ・のりを洗い落として濡れたままで置きます。※濡れていないと染めムラの原因になります。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の耐熱容器に染料を入れて、熱湯約250mlで粒が残らないようによく溶かします。※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(30℃以上)を約3.5ℓ用意し、②の染料と、塩約30gを加え、計約3.75ℓとします。

④ 布を入れ、20～30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20～30分染めます。

動物繊維 など

絹・毛(ウール)
ナイロン・ポリウレタン



※繊維の性質上、急激な温度変化や、粗雑な扱いをすると繊維が縮むのでご注意ください。

① 布を洗う



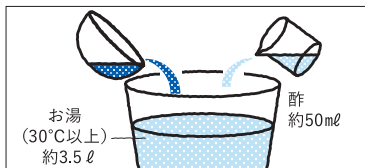
染めるものの汚れ・しみ・のりを洗い落として濡れたままで置きます。※濡れていないと染めムラの原因になります。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の耐熱容器に染料を入れて、熱湯約250mlで粒が残らないようによく溶かします。※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(30℃以上)を約3.5ℓ用意し、②の染料と、酢約50mlを加え、計約3.75ℓとします。

④ 布を入れ、20～30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20～30分染めます。 ※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

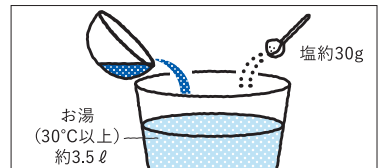
植物・動物繊維の混紡品

混紡品を染めるときは、それぞれの繊維に必要な助剤(塩と酢)を併せて使います。

△ 助剤を入れる順番を間違えると染まりません。

植物繊維の工程の①～②

③ 染め液を作る



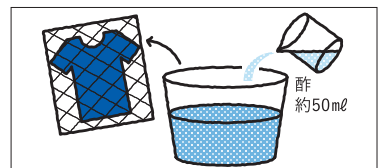
染色容器にお湯(30℃以上)を約3.5ℓ用意し、②の染料と、塩約30gを加え、計約3.75ℓとします。

④ 布を入れ、10～20分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約10～20分染めます。 ※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

⑤ 布を取り出して酢を入れる



布を取り出した染め液に酢約50mlを加えます。

⑥ 布を入れ、10～20分染める

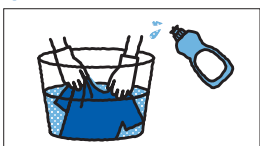


布を染め液に戻して、さらに約10～20分染めます。

ソーピング(洗い)へ

ソーピング(洗い)

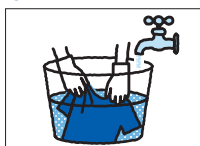
① 洗う



染め液から取り出し、水で軽くすすいだあと、台所用液体中性洗剤を溶いたぬるま湯で洗います。

※絹・毛(ウール)は急な温度変化を与えると繊維が縮みますので、すすぎは染色した温度よりやや低い温度で行ってください。

② 水ですすぐ



さらに水で洗剤の泡が落ち切るくらい、すすぎます。

色止め

植物繊維など

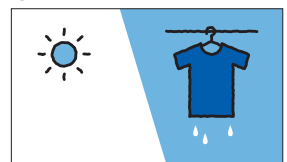
綿・麻・レーヨン・キュプラ・混紡品は別売の「色止剤ミカノール」で色止めすると洗濯での色落ちを減らせます。

※ビニロンは色止め不要です。

動物繊維など

色止め不要です。

③ かげ干しして完成



脱水してかげ干しし、アイロンをかけたら完成です。 ※染色したものと他のものを一緒に洗濯することはさけてください。